

**【NEWS RELEASE】**

2022年4月28日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社正光社に「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社正光社（代表取締役社長：中澤 康祐）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社正光社については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 太陽光発電設備販売・設置工事を通じた再生可能エネルギーの導入拡大、充電器等の販売を通じた気候変動への適応

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 目標 7<br>エネルギーをみんなに<br>そしてクリーンに | 7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。      |
| 目標 13<br>気候変動に<br>具体的な対策を      | 13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）および適応の能力を強化する。 |

- ② 里山の再生を通じた自然環境の保全、紙のリサイクルやペーパーレス化を通じた廃棄物削減

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 目標 15<br>陸の豊かさも<br>守ろう  | 15.4 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。 |
| 目標 12<br>つくる責任<br>つかう責任 | 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。                 |

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。